

<地域医療実習、研修を終えて>

H29年度は、名古屋大学医学生3人の実習、研修医2人の研修を終了しました。以下のように感想をいただいています。

名古屋大学医学部医学科6年生の感想

学生A

- 1 中津川での実習は私にとって新鮮なことばかりで、とても充実した2週間を過ごすことができました。蛭川診療所での日々の外来、訪問診療や往診では、「地域をまるごと診る」ために必要となる診察のスキルを学びました。診療所外では、乳幼児相談、“やすらぎ”、“つくしんぼ”での実習を通して、多職種の方々が、中津川に住む母子や高齢者をどのように支えているかを知ることができました。また、患者さん、利用者さん、そのご家族、ご近所さんから、地域ならではのあたたかさや人と人とのつながりを感じられました。このような貴重な経験をさせていただいた高橋先生をはじめとする診療所の方々、多職種の方々、地域の方々に大変感謝しております。ありがとうございました。今回の経験を糧として、立派な医師になるべく、日々精進して参りたいと思います。

学生B

- 2 行政、福祉など、医療以外で、地域住民の健康を支える取り組みに触れることができ良かった。地域の皆様がとても温かく接して下さって、素敵な地域だと思った。小規模のコミュニティ内で、住民同士の繋がりを感じながら診療していくことがおもしろいと思った。

学生C

- 3 大学病院で実習していると、多くの患者さんは紹介状を片手にやって来たり、過去に様々な治療歴があったりと病歴に富み、その反面治療が困難であるケースが多かったのですが、蛭川地区は紹介状を持ってくる人はいるものの、基本的には一人で考えて判断をする場面が多く、その判断には緊張を伴うものだ、と感じられました。医師は自分の行動、発言に責任を求められる職業であるため、そういった責任を実感するような経験は学生のうちに必須なのではないかと思います。そのような体験ができたことは本当に貴重なものとなりました。

中津川市民病院研修医感想

研修医A

- 4 再診患者さんを診たり、予防接種、がん検診などの相談にのるということを普段の診療で診ることはあまりなかったので新鮮でしたし、勉強になりました。1ヶ月間ありがとうございました。

研修医B

- 5 担当した診察に対し、直後にフィードバックが得られ、改善すべき点の解説、資料を提示してもらい勉強になった。臨床倫理について学生時代にかじった程度だったが、具体的な症例についてどう考えるか学び、治療方針の決定の際に助けとなる考え方を学べて良かった。初診の方が少なく自分が診察する機会があまりなかったが、高橋先生の診察の見学から、どのような思考過程をされているか、身体所見の取り方など学べて良かった。2年目になって慣れてきたためかカルテ記載や身体所見を省いていたが、変なクセがつく前に地域医療研修をしていれば良かった。教育的な症例については外来中に解説して頂き、診察終了後に質問の時間を設けて頂いたので質問しやすく、勉強になった。お忙しい中、高橋先生をはじめスタッフの皆様、1ヶ月間ありがとうございました。